



日本共産党
北茨城市委員会
選挙区 豊田(030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木))

毎週日曜日発行

お問合せは上記へ

切実な市民の願い実現を

2008年度予算に向け、暮らしや教育など61項目

日本共産党市議団が予算要求書を市長に提出



日本共産党市議団は11月26日、2008年度の予算要求書を豊田市長に提出して、市民要求の実現を強く求めました。予算要求書は暮らし、教育、生活環境、行財政の4つの柱からなり、61項目の具体的な要望事項を列挙しています。(2面に全文)

党市議団との懇談の中で市長は、「来年度予算で、3才未満児の医療費無料化や妊婦健診の助成回数増をおこないたい。また、磯原駅東口へのトイレ設置など市民要求の実現に

つきたい」等々と述べました。

行革案の中で廃止および民間委託の対象となっていた関本・木皿の両市立保育所は「廃止せずに存続させたい」と明言しました。また、磯原駅西にある東電の施設(TEPCO、今年12月末で閉館予定)については

第4回定例会市議会の日程

- 12月5日(水) 初日
- 12月11日(水) 一般質問
- 12月13日(木) 建設委員会
- 12月14日(金) 産業委員会
- 12月17日(月) 文教厚生委員会
- 12月18日(火) 総務委員会
- 12月20日(木) 最終日

「市で譲り受けて住民のために活用していきたい」としています。

さらに市長は、このほど南中郷工業団地に(株)花見台自動車という企業の進出が決まったことも明らかにしました。雇用は、大半が地元での採用となる見込みと

のことです。

日本共産党市議団は、「今後とも是々非々の立場で、さまざまな市民要求を実現するために全力をつくす」と決意を語っています。

建設委員会で行政視察

11月14～16日、市議会の建設委員会の行政視察がおこなわれました。視察先は、島根県出雲市「出雲ドーム」、岡山県倉敷市「特定公共賃貸住宅および市営住宅」、大阪府堺市「小水力発電設備」。

参加した福田明市議は「出雲では当時の市長が『日本は元来、木の文化』である

講演会「笑う門には福来たる」

地域福祉・介護予防講演会が開かれました。第1部は介護予防体操の実演。そして第2部が表題の講演会。講師の袖山卓也氏は「病ではなく人を看よう」と、臨床検査技師から介護職に転身したという35歳の介護士です。

「喜怒哀楽というが、歳をとってからは喜と楽が大切。笑いを大事にする介護

を」「何気ない日常の習慣にその人らしさが現われる。そこを大切にこそ本当の介護ができる」

と、毎日の衣食の習慣や排泄の介護の例が話されました。特に認知症の方の世界に入り込んでの介護の実例など、自分の身体を使い、姿勢を変え、目線を低くしての、実践的で分かりやすいお話でした。

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木康子
☎42-2462



市議会議員
福田明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。

との考えから小学校や公民館、そしてドームも木造で造ったこと。倉敷では家賃の滞納や住環境に優れた住宅建設に知恵を絞っていたこと。堺では環境に配慮し

た発電を行政自らが実践していることなど、各自自治体から貴重な教訓を学びました。今後の本市の行政にも反映させていきたい」と述べています。



雨情の里 音楽祭

市民の手づくりとなって4回目を数える『雨情の里 音楽祭2007』が11月25日、市ふれあいセンターで開催されました。第1部の音楽発表会では、市内、市外から幼稚園児も含め12グループが参加。第2部では、脚本・演出、出演者もすべて市民の手によるブチミュージカル。おとぎの国の様な雰囲気の中であらりと涙させる温かいお話が楽しく披露されました。